

飛島を舞台とした環境教育実施事業

とびしまクリーンツーリズム



結果報告



事業概要

山形県では、今年度『とびしまクリーンツーリズム』をキャッチフレーズとして、本県唯一の離島である飛島を舞台に、5月から9月までの間、県内各地域の小学生の親子や大学生、社会人を対象に海岸漂着物問題について学ぶ1泊2日の体験ツアーを行いました。海岸の清掃活動をはじめ、自然観察など飛島ならではの体験を通して自然豊かな飛島の魅力に触れながら、美しい自然とゆたかな海を守ることの大切さについて参加者の方々に学びました。実施回数は全23回、参加者数は534名と無事に全てのプログラムを実施することが出来ました。ご協力頂いた皆様方、大変有り難うございました。

関連団体

旅行企画：山形県環境エネルギー部 循環型社会推進課 | 旅行主催：有限会社 山旅 |

島内企画：NPO法人パートナーシップオフィス | 島内宿泊：島の旅館・民宿 | 島内協力：合同会社とびしま

活動写真



海岸清掃活動



島の自然を体験



座学研修



回収した漂着ごみ

実施結果

実施回数

23回実施 (一般6回
親子9回
大学・企業7回
その他1回)

参加者数

534名参加

参加者の声

30代・女性 内陸とは違う森の雰囲気（南国のような）、宝石を散りばめたような星空、海がきれい、宿のお父さんがすごく良い方！朝、島を散歩しましたがそれぞれの浜も雰囲気が違いました。宿のごはんも最高でした。

40代・女性 子供も大人も楽しみながら学べる素晴らしい機会だったと思います。実際に海岸漂着物を見て、拾って、考えて、今までと違う見方が出来るようになったと感じています。

50代・女性 この企画で学んだことを、より多くの人達に知ってもらい、考えてもらうことができればと思い、小学校の夏休みの課題研究として報告発表することにしようと子どもと話をしました。

5年生・女子 海にいっぱいごみがあることにびっくりしました。わたしは韓国のごみを拾ったので、外国のごみも流れてくるのがわかりました。飛島はおもしろい場所があってとても楽しかったです。また参加したいと思います。

30代・男性 内陸に住んでいて、海岸のゴミは関係ないと思っていましたが、実は川からのゴミが大半だと言う話を聞き、とても心が痛みました。今回のツアーの事を一人でも多くの人に話し、今の現状を知らせていけたらと思います。

20代・女性 想像していた以上に素敵な島で、絶対にまた来たいと思いました。飛島の美しいところを残したいし、もっとキレイな海岸になってほしいと心から思っています。

20代・女性 岩の隙間や石の下にはまだまだゴミがあった。海岸のゴミ問題の解決にはもっと様々な取り組みが必要だと思うし、クリーンツーリズムは今後も続けていかなければならないと感じた。

20代・女性 日本だけではなく韓国、中国等のゴミを拾った時は、海というものに国境がなく、全世界の人々が環境について考えなくてはならないことなのだという事を身を以て感じる事が出来ました。

60代・男性 ごみにペットボトルのキャップが多かった。使い捨てライターも多かった。使い捨てのものは使わないようにする。きちんと分別してごみに出すことを心がけたい。

30代・男性 「もっと海の様子を見ていたい！」と思う程、素晴らしい体験となりました。あの飛島の海をこれからも楽しみたいと心から思いました。見たこともない魚もいて、驚きの連続でした。